

教科書QRコンテンツ3つの柱

見開きタイトルの横に掲載している二次元コードを読み取ると、その見開きにあるコンテンツの一覧ページが開きます。コンテンツがある箇所には紙面上に「タブレットマーク」を配置して、どこにどのようなコンテンツがあるのかを示しています。



合計 **437** 個のコンテンツをご用意しています。



教科書QRコンテンツ一覧

種別	数	種別	数	種別	数
イントロダクションムービー	22	確認小テスト	118	ポートフォリオ	34
スキルUPの解説動画	4	外部リンク	165	思考ツール解説	6
動画	42	(うちNHK for School)	(113)	関連画像	24
年表	14	ワークシート	5	絵図解説・スライドショー	3

内容のまとまりでの授業を支援したり、個別最適な学びを実現したりするために、教科書全体を通して「ポートフォリオ」「イントロダクションムービー」「確認小テスト」の3つのコンテンツを系統的に設定しました。家庭学習でも利用でき、生徒の自学自習を支援します。

1 ポートフォリオ

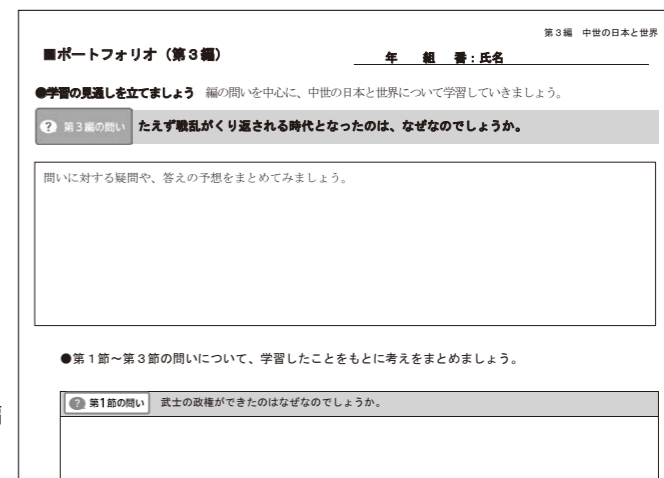
導入ページ 本文ページ まとめ・ふり振り返りページ

生徒の学習履歴を記録するコンテンツです。生徒の考えの変容を見取ることができるため、**学びの自己調整に役立ちます**。また、「**主体的に学習に取り組む態度**」の評価に活用することもできます。**Word、PDF、Googleドキュメントの3種類のデータをご用意しています**。印刷して紙で運用していただくことも、タブレット端末上で運用していただくこともできます。

ダウンロードはこちら!



第3編 中世の日本と世界 (P.67)



2 イントロダクションムービー

本文ページ

1~2分程度の長さで、**第2~6編の節の最初の本文ページに設定している、教科書完全準拠のオリジナル動画コンテンツ**です。**前の節で学習したことを確認したり、「節の問い」を解決するための学習の見通しをもったりする際に役立ちます**。

動画の再生はこちら!



第3編第2節 鎌倉幕府の成立 (P.72)



3 確認小テスト

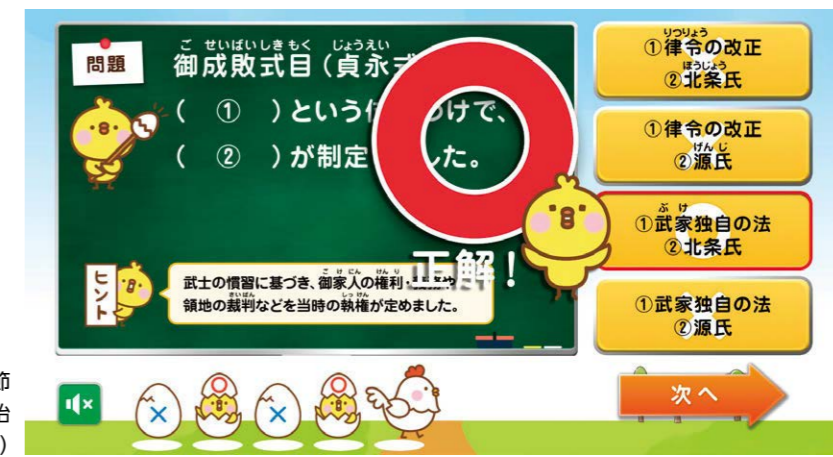
本文ページ

主に**重要語句**について**4択問題で確認できるコンテンツ**です。本文ページに設定しており、知識の定着に役立ちます。節末の本文ページに設定している確認小テストは節全体の問いをランダムに出題します。テスト前の確認にも活用できます。

小テストの体験はこちら!



第3編第2節 ①鎌倉幕府の政治 (P.72-73)



歴史の学習をサポートする様々なコンテンツ

よりビジュアルにスキルUP — 「情報を読み取る」技能の育成

教科書に掲載した「スキルUP」のうち、「情報を読み取る」技能について視覚的によりわかりやすく解説した動画です。動画では、教科書で示されている解説を実際に取り方の例などを交えてより詳細に説明し、情報活用能力の育成を図りました。

スキルUP 絵巻物の読み取り方 **動画** P.65

絵巻物とは、内容を述べた詞書の部分と、それに対応する絵が原則として交互に配置された巻物です。絵巻物から、当時の衣食住のようすのほか、町や自然のようすを知ることができます。絵巻物のなかでは、時間は基本的に右から左に流れます。どのような場面がえがかれているかに着目して読み取りましょう。

注目! 教科書完全準拠の解説動画

教科書の「スキルUP」に沿った解説で、無理なく学習を進められます。生徒の自学自習としても活用することができます。

『男衾三郎絵詞』縦29.3cm×長さ1260.9cm 制作：鎌倉時代・13世紀 東京国立博物館蔵

それに対応する絵が原則として交互に配置された巻物です。

「情報を読み取る」技能にかかわる「スキルUP」

- 年表の読み取り方 P.9
- 歴史地図の読み取り方 P.40
- 系図の読み取り方 P.43
- 絵巻物の読み取り方 P.65

大きな時代の流れのなかで事象をとらえる — 巻末年表の活用

第1編第1節と第2～6編の導入ページ「学習のはじめに」に、教科書の巻末年表をスクロール操作で一覧することができるコンテンツをご用意しました。

この巻末年表は、日本史の主要な時代（縄文時代、弥生時代、古墳時代、飛鳥時代、奈良時代、平安時代、鎌倉時代、室町時代、徳川時代）と世界史の主要な時代（原始時代、古代、中世、近世、現代）を対照的に示しています。各時代には、主要な出来事や文化財の紹介が記載されています。

基礎的・基本的な知識及び技能の習得や、学習内容のまとめなどに役立つ様々なコンテンツをご用意しています。また、学習内容に関する動画やWebサイトへのリンクも設定しており、生徒が自主的に学習を深めることができます。

思考ツールの使い方を身につける—スムーズなまとめ活動への支援

第1編第1節と第3～6編の「まとめとふり返し」には、教科書に掲載している思考ツールの使い方を解説したコンテンツがあります。思考ツールをどのように活用すればいいのかが、生徒が手元で確認しながらまとめの活動を進めることができます。

「近代(後半)」の特色をさぐる 日本で起こった「変化」から、「近代(後半)」にはどのような特色があるかをさぐる P.257

STEP 1 第5編第2章で主に学習した1910年代から1940年代の日本の「変化」についてXチャートに整理し、変化が起こった理由を話し合います。

まとめとふり返し

Xチャートを使ってみよう

多面的にみる 分類する 焦点化する

明らかにしたいことがらについて、さまざまな観点から関連する情報を整理することは、自分の意見をまとめることに役立ちます。Xチャートは四つの観点を設定して多面的・多角的に考えることができます。

まず、①明らかにすることがらについて考える観点を決めます。②それぞれの観点について、できるだけ多くの情報を書き出します。③それぞれの観点から書き出したことをもとに、観点の特徴について考え、記入します。

完成したチャートから新しく気づいたことをもとに、明らかにすることがらへの考えをつくってみましょう。

● 解説している思考ツール

- Yチャート P.16
- マトリクス P.103
- ロジックツリー P.153
- ツールミンモデル P.213
- Xチャート P.257
- ダイヤモンドランキング P.291

大正時代はどのような時代か

- 1 外交
- 2 政治
- 3 文化
- 4 経済

豊富な動画などの多種多様なコンテンツ

教科書の内容に関連する「NHK for School」の動画へのリンクや、教科書紙面には掲載していない追加資料やオリジナル動画、第2～5編第2章にある「チャレンジ歴史」に対応したワークシートなど、様々なコンテンツをご用意しています。

他にも史跡・文化財の関係職員の方へのインタビュー動画や当時の映像資料など、歴史ならではの動画もあります。

→本冊子P.27参照

P.141 江戸の町のようす(想像図)のシミュレーション(絵図解説)